

## 第2次裾野市環境基本計画の評価結果（令和5年度進捗状況）

### 1 概要

第2次裾野市環境基本計画の令和5年度進捗状況について、裾野市環境審議会にて評価を実施した。（審議会委員9名中、8名出席）

実施日時：令和6年12月23日（月）9時30分～11時40分

場所：裾野市役所4階402会議室

### 2 評価方法

（1）環境目標ごとに以下の採点基準に基づき、委員が採点を行った。

#### <採点基準>

評価点	進捗状況
3点	環境目標（R7年度）を達成するために、順調に進捗している
2点	一部遅れはあるものの、目標の達成が見込まれる
1点	より一層の推進を要する

（2）各委員の評価点の合計を平均し、以下の評価基準に照らして環境目標ごとに評価を行った。

最後に、5つの環境目標の評価点の合計を平均し、令和5年度進捗状況の全体評価を行った。

#### <評価基準>

評価点の合計の平均	評価区分	進捗状況
2.5点～3点	A	環境目標（R7年度）を達成するために、順調に進捗している
1.5点～2.4点	B	一部遅れはあるものの、目標の達成が見込まれる
0点～1.4点	C	より一層の推進を要する

### 3 結果

5つの環境目標の評価点の平均は2.5点となり、令和5年度進捗状況の全体評価は「A」となった。

環境目標	平均	評価
<b>1【安全・安心】</b> 安全・安心で快適な環境のまちづくり	2.4	B
(意見) ○市民1人1日平均有収水量については、積極的なアプローチを行わないと目標達成は困難である。また、今後、議論を重ねていくべき問題と考える。 ○苦情件数は評価の対象とするべきではないが、その内容(傾向)に対して対応が必要である。 ○環境指標の大気汚染に関する苦情件数と文中の件数の合計が一致した方が良いのではないか。		
<b>2【自然共生社会】</b> 豊かな自然と人が共生するまちづくり	2.3	B
(意見) ○耕作放棄地解消に向けた取り組みは大きな成果をあげているが、耕作放棄地の解消面積だけでなく、耕作放棄地の面積を把握する必要がある。 ○都市公園の整備面積は、このままでは目標達成が困難。 ○市民が自然にふれあう機会を活用して、裾野市の良さを知ることにつなげてもらいたい。 ○自然保護や共生はよくできていると思う。		
<b>3【循環型社会】</b> 環境負荷の少ない循環を基調とするまちづくり	2.9	A
(意見) ○すべての項目において目標を達成している。さらに継続してもらいたい。 ○1人あたりのごみ排出量が減少している。市民一人ひとりの意識づけが進んでいるのではないか。 ○目標達成できているものの環境負荷を減らすため、より一層取組むべきと思う。 ○ごみ分別項目の増加、減量方法の啓発などを通じて市民一人ひとりの意識向上が図れば、ごみ排出量を減少できると思う。		

<b>4【脱炭素社会】</b> 地球温暖化防止に努めるまちづくり		
(意見) ○インフラ整備（水素ステーション、都市ガス普及率など）との兼ね合いにより、目標達成が困難な指標があるものの、現在の社会情勢を鑑みた地球温暖化対策が行われている。 ○現在の状況は良いが、将来を見据えた対策を取ってほしい。 ○太陽光発電、蓄電池等の耐用年数、廃棄費用なども考えた上で進めてほしい。	2.5	A
<b>5【環境教育】</b> 持続可能な社会を実現するための人づくり		
(意見) ○コロナ禍後、環境教育の参加者数は増加傾向にあるが、目標達成は困難と考える。 ○今後も目的をはっきりとした環境教育を推進してほしい。 ○裾野の特質、地形、風土、山、木などの特性を生かした環境教育について考えてほしい。 ○教育が大切であると改めて感じた。 ○企業に対する活動や団体を紹介することで、活動が活性化するのではないか。	2.4	B
<b>第2次環境基本計画 令和5年度進捗状況（全体評価）</b>	2.5	A